

2023年漁業センサス研究会現地実態把握の報告

- 1 日 程：令和4年8月2日～3日
- 2 訪問先：鳥取県鳥取市（千代川漁業協同組合）
鳥取県岩美町（地下海水井戸陸上養殖センター）
鳥取県湯梨浜町（鳥取県栽培漁業センター、内水面漁業経営体）

3 参加者：工藤座長、事務局

4 概 要

（1）千代川漁業協同組合

概 要：民間事業者（サーベイリサーチセンター）が2023年漁業センサス内水面漁業地域調査票（案）に基づいて、調査項目に対する意見を伺った。主な内容は以下のとおり。

- ・ 遊漁者への普及啓発活動でパンフレットを作成している。来年度から電子遊漁券を導入予定のため、電子媒体のポスターパンフレットは該当するのか。該当する場合は、例示を記載してほしい。
 - ・ その他の啓発普及活動について、もう少し具体例を挙げてほしい。外来魚の駆除のための釣り大会や釣った外来魚の持ち帰りが該当するのか分からない。
 - ・ 活性化の取り組みで「他の地域」が分かりづらい。また、参加人数に組合員の数を含めるかどうか不明。
 - ・ 漁場環境改善の取り組みで親魚放流が「種苗放流」に含まれるのか。また、外来魚・カワウ対策は「保護水面の管理」に含まれるのか。例示に記載してほしい。
- 上記の意見については、調査対象者が適切に回答できるよう、設問本文や記入の仕方へ追加し対応する。

（2）地下海水井戸陸上養殖センター（株式会社タシマボーリング）

概 要：昨年度、JR西日本から事業継承した陸上養殖センターにおける具体的な事業内容（事業継承後の施設・飼育状況等改善点、販路等）について説明を受けたのち、意見交換を行った。主な内容は以下のとおり。

【事業概要】

- ・ 井戸から汲み上げた海水を飼育水としてかけ流し方式で飼育し、アニサキスのない生食用のマサバ「お嬢サバ」としてブランド化。

- ・ 2021年4月、事業継承後、1年かけて施設に遮光用の屋根やソーラーパネルを設置し、電力消費節減策を講じるとともに、ポンプの増設による井戸海水供給量の増量など改善を図っている。
- ・ 漁業後継者不足の解消を考え、飼育員は女性2名のみで、女性でも対応可能なストレスのない漁業生産を目指して取り組んでいる。

【意見交換】

- (当方) 海外向け出荷を新たな調査項目で調査を行う予定。輸出しているか。
- (先方) 輸出はしていない。契約している飲食店やインターネットでの販売を行っている。
- (当方) 陸上養殖の今後の展望は。周辺で増えていくか。
- (先方) 陸上養殖は今後増えていくと思うが、地下海水が出ない場所もあるため、何とも言えない。

(3) 鳥取県栽培漁業センター

概要：栽培漁業センターの組織構成、飼育魚介類、県内の養殖業への新規参入状況や既存養殖場での魚種や規模の拡大等の動きについて説明を受けたのち、意見交換を行った。主な内容は以下のとおり。

【組織概要】

- ・ 組織構成は鳥取県栽培漁業センターと公益財団法人鳥取県栽培漁業協会（養殖用種苗生産・販売等）で、飼育している魚介類は、魚（ヒラメ（放流用）、キジハタ（放流用）、マサバ（養殖用）、アユ（県内3河川の放流用種苗・稚魚生産）、貝（アワビ・サザエ・イワガキ）。
- ・ 鳥取県内の状況は、平成24年以降、養殖業への新規参入や既存養殖場での魚種や規模の拡大等の動きが活性化しており、新たに参入した養殖場は県内で10か所。具体的な養殖内容は、陸上循環型ろ過養殖システム（RAS）によるギンザケ・ニジマス養殖や地下海水井戸陸上養殖によるマサバである。

【意見交換】

- (当方) 内水面漁業経営体名簿の補正は可能か。
- (先方) 養殖事業者は、県で把握している。ただし、規模の小さい個人経営体は分からない場合もある。
- (当方) 鳥取県内で輸出の取り組みは行われているか。
- (先方) 鳥取県内では輸出はあまり行われていないが、境港周辺では水産加工品を中心として輸出が行われている。

(先方) 漁業センサスが5年に1度実施されるのは承知していたが、当センターは調査対象となるのか。

(当方) 販売を目的に養殖を行っている事業所は該当するため、鳥取県栽培漁業協会が調査対象となる。

(4) 2018年内水面漁業経営体調査客体

概要：民間事業者（サーベイリサーチセンター）が2023年漁業センサス内水面漁業経営体調査票（案）に基づいて、調査項目に対する平易な表現方法等の改善意見を伺った。主な内容は以下のとおり。

- ・ 世帯員欄は、続柄の記入が補足説明を見なければ難しい。1ページへの集約は特に問題ない。
- 漁業を行った人の項目は、1ページへ集約する。経営主との続柄は、参照欄へ矢印を引いて対応。
- ・ 年齢と生年月は、生年月の記入の方が良い。
- 引き続き、生年月の記入とする。
- ・ エコラベルは、言葉は聞いたことがあるが、この地域で取得している人はいない。
- ・ 海外向けの出荷は行っていない。他の地域でも聞いたことがない。
- ・ 難しい設問は飛ばして進め、調査員へ聞いて記入している。
- 回答がスムーズにできるよう、記入の仕方を充実する。

—以 上—